

福浜小学校第3学年国語科学習指導案

福岡市立福浜小学校
教諭 鬼塚 正博

1. 単元名 場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう「ちいちゃんのかげおくり」

2. 単元の目標

- ・ 互いの感想の内容を比較し、考えの共通点や相違点を伝え合うことができる。 (知識・技能)
- ・ 場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 平和をよりよくするために自分ができることを考えることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3. 評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう力
○ 時を表す言葉に着目し、場面の移り変わりを理解することができる。 ○ 登場人物の会話文や行動から、その時の気持ちや変化を読み取ることができる。	○ 自分の考えを、叙述をもとに考えた理由と共に書いたり話したりすることができる。	○ 平和をよりよくするために、自分ができることを考えることができる。

4. 単元について

(教材観)

- 本教材は、戦争によって家族と離ればなれになった主人公が、家族に会いたい気持ちを持ちながら、自分の命をなくしてしまう悲しい物語で、平和な世の中に感謝し、維持することを願うことをねらいとしている。

導入では、これまでの平和を想起し、これから学習する物語は、戦争中の話であることをおさえる。最初に、学習全体のめあてを決める。読み確かめの学習では、登場人物の会話文や行動などの叙述から、気持ちの変化を読み取っていく。そのなかで、主人公の気持ちに寄り添わせ、平和の大切さを感じさせ、その思いを文章に表現させる。

このように、主人公の気持ちやその変化を考えさせることで、平和の大切さについて実感できるという点で価値があると考えられる。

(児童観)

- 本学級の子どもたちは、正義感は強く、正しいことをしようとする態度や行動はみられる。友達が間違ったことやルールを守らない行動をすると、すぐにしてはいけないことを伝えたり教えたりする姿が見られる。しかし、相手の気持ちや立場を考えない発言や行動が多くみられる。

これまでの「きつつきの商売」や「もうすぐ雨に」の学習で、時を表す言葉から場面が変わったことは理解できている。登場人物の会話や行動の叙述から、自分の考えを書くことができているが、気持ちの変化を読み取ったり根拠となる叙述やその理由まで書いたりすることができる子は少ない。

(指導観)

- 指導にあたっては、繰り返しの言葉や似た言葉に着目させ、主人公の気持ちや体の変化を読み取らせる。

読み確かめの学習において、学習をしたことで分かったことや感想など、自分の思ったこと感じたことを文章で表現させる。その中で、平和のために自分ができることやしたいことを書いている子どもを取り上げ、学級全体に紹介することで、平和への関心を持たせるとともに、平和のため、平和をよりよくするために自分ができることを考えさせたい。

5. ESD との関連

(主に関連する ESD の価値観)

「世代間の公正」

- ・ 読み確かめの場面において、本時で学習したことをもとに、主人公と自分を重ねさせながら感想を書かせることで、平和の大切さを感じるだけでなく、「平和な生活を送るため」または「平和をよりよくするため」に自分ができることを考えることができる。と考える。

「人権・文化の尊重」

- ・ 叙述をもとにつくった自分の考えを交流することで、自分の考えを一方向的に話すのではなく、相手の考えについて共通点や相違点を見つけながら、自分とは違う考えを受け入れる態度を養い、新たな知識や語彙を獲得できると考える。

(主に関連する SDGs)

- ・ 16「平和と公正をすべての人に」

6. 学習活動の概要

(全12時間)

主な学習内容	学習への支援	◇評価・備考	ESD の視点	ESD の資質・能力
1, 題名と冒頭から、読みのめあてをつくる。①	○ 題名読みからできた疑問をもとに、冒頭を読み、読みのめあてにつなげる。	◇ 題名の疑問から、読みのめあてを作ることができる。	多様性	システムズシンキング
2, 全文を読み、読みのめあての答えを書き、中心文を決める。②	○ 読みのめあての答えの根拠となった叙述や主人公の行動をもとに中心文を決める。	◇ 叙述を根拠に、自分の考えや解釈した理由を書くことができる。	相互性	システムズシンキング
3, 広い空がこわい所にかわったときのちいちゃんの気持ちを読み確かめる。①	○ 本時場面をつかませるために音読をするときは「時」「場」「人物」を見つけさせながら読ませる。	◇ 主人公の気持ちを、叙述から自分の考えとその理由を書いたり発言したりすることができる。	連携性 責任性	システムズシンキング クリティカルシンキング コミュニケーション力
4, ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み確かめる。①	○ お母さんやお兄ちゃんとはぐれたちいちゃんの気持ちについて話し合わせ、自分と比べさせる。	◇ 主人公の気持ちを、叙述から自分の考えとその理由を書いたり発言したりすることができる。 ◇ 自分と比べて、主人公の気持ちを考えることができる。	連携性 責任性	システムズシンキング クリティカルシンキング コミュニケーション力
5, ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み	○ 中心文の「きっと」「～よ」の言葉に着目して読ませ、ちいちゃんの不安な	◇ 主人公の気持ちを、叙述から自分の考えとその理由を書いたり発言したりすることがで	連携性 責任性	システムズシンキング クリティカルシンキング

確かめる。①	気持ちについて考えさせる。	きる。 ◇ 自分と比べて、主人公の気持ちを考えることができる。		コミュニケーション力
6, ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み確かめる。①	○ 家族に会いたい主人公の気持ちについて、中心文「ふらふらする足をふみしめて立ち上がると」の言葉から読み取らせる。	◇ 主人公の気持ちを、叙述から自分の考えとその理由を書いたり発言したりすることができる。 ◇ 自分と比べて、主人公の気持ちを考えることができる。	連携性 責任性	システムズシンキング クリティカルシンキング コミュニケーション力
7, 家族に会うことができたちいちゃんの気持ちを読み確かめる。①	○ 「小さな女の子の命が空に消えました。」の言葉について着目させ、「ちいちゃん」「死んだ」の言葉と比べさせながら、自分の考えを書かせる。	◇ 主人公の気持ちを、叙述から自分の考えとその理由を書いたり発言したりすることができる。 ◇ 言葉の違いを理解して、主人公について考えることができる。	連携性 責任性	システムズシンキング クリティカルシンキング コミュニケーション力
8, 何十年たった場面を読み確かめよう。①	○ 「それから」「遊んでいます」の言葉から、何十年も時が過ぎ、平和になったことをつかませる。	◇ 主人公の気持ちを、叙述から自分の考えとその理由を書いたり発言したりすることができる。	連携性 責任性	システムズシンキング クリティカルシンキング コミュニケーション力
9, 感想文を書き、友達に伝え、学習をふり返る。③	○ 感想文の書く視点を明確にし、書かせる。	◇ 物語の感想を、叙述から自分の考えとその理由を書くことができる。 ◇ 平和をよりよくするために、自分ができることを書くことができる。	多様性 公平性 連携性	システムズシンキング 長期的思考力 コミュニケーション力